



清流 NEWS

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

Tel 042-585-1111

発行日 1月・4月・7月・10月

Vol. 90

発行

日野市
環境共生部
緑と清流課



「日野市・八王子市浅川流域連携」 浅川流域川の恵みシンポジウム ～未来の子どもたちにつなげよう～

平成23年11月6日開催

浅川の魅力を発信しました。

このシンポジウムは、日野・八王子両市域を流れる浅川を流域として捉え、治水、利水、水質、水辺の保全・活用をキーワードとして連携事業をおこない、良好な流域の水辺環境を創出し、心豊かな流域のまちづくりを目指すための第一歩として行ったものです。

基調講演では、「川の営みを活かした川づくりと流域の水循環がもたらすもの」と題し、国土交通省水管理・国土保全局技術調整官内藤正彦氏より、川の変化を許容する空間確保、市民協働型流域治水の紹介、流域治水とまちづくりの調和点等について、多くの情報が提供されました。

パネルディスカッションでは、「浅川を語ろう！過去・現在そして未来へ」のテーマのもと、コーディネーターに東京農工大学名誉教授小倉紀雄氏を迎え、日野・八王子両市長、早大大学院生の酒巻氏、滝合小教諭の清水氏がパネリストとなり、浅川への思いや将来が語られました。休憩後、浅川写真コンクー

ル「私の好きな浅川」の表彰式が行われ、全42作品から入選した30名が表彰されました。続いて、子どもたちの活動報告では、八王子市こどもミーティング、日野市潤徳小学校水辺の楽校、日野市滝合小学校水辺の楽校の活動報告が行われ、会場から多くの拍手が寄せられました。

最後に、子どもたち、両市長が壇上で共同提言を発表し、約3時間のシンポジウムが盛況のうちに終了しました。

多くの来場者で会場の八王子学園都市センターは満席となり、立ち見の方や会場の外のモニターで見える方など、320名の来場者の熱気であふれました。

今号では、パネルディスカッションで語られた浅川の過去、現在そして未来への思いをお伝えします。

パネルディスカッション

◎小倉教授

浅川を軸にして八王子市と日野市が連携して今後さまざまな事業展開すると伺った。



両市民にとって貴重な財産である浅川の将来を考えるうえで大変心強い。

11年前、黒須・馬場両市長に出席いただき、浅川に寄せられる思いについて語ってもらった。

黒須市長は、「浅川は魚とりに行った川だ。ふるさとの清流を目指す。」

馬場市長は、子どもの頃、川は遊び場だった。両市で浅川流域清流条例を作ろう」

あれから11年。浅川の水は大変きれいになった。そこで、再び両市長の浅川の思い、浅川の将来を語ってもらおう。

◎黒須市長

浅川は「母なる川」という位置づけ。